

入試制度を知ろう2 私立と公立

今回は、私立高校と公立高校の違いについてです。主なものを挙げました。



私立高校と公立高校の違い

私立高校

- 独自の校風・教育方針
高大一貫・宗教が基盤
進学重視・部活動など
- 学区制なし
- 男子校・女子校・共学校
- 定時制はない
- 普通科が中心
- **専願合格→必ず入学**
併願合格→入学義務なし

公立高校

- 基本的には同内容
最近は特色づくりに
力を入れている
- 受験できるのは、原則として府内の高校のみ。
- **すべて男女共学**
- **全日制・定時制・通信制**
- **専門学科・総合学科も**
- **合格すれば必ず入学**

どのような点に着目して進学先を選べばよいか

- ① 通学時間 … 近いところがいいか、遠くてもかまわないか
- ② 男女共学・男女別学 … 共学がいいか、別学がいいか
- ③ 学費 … 無理なく進学できる学費かどうか(大学・専門学校など卒業後のことも考える)
- ④ 卒業後の進路 … 大学に進学したいのか、就職したいのか、資格が欲しいのか
- ⑤ 部活動 … やりたいクラブがあるかどうか
- ⑥ 校風 … 文化祭・体育祭などが盛ん、自由な校風 など
- ⑦ その他 … 制服のデザイン、アルバイトの可否、学校周辺の環境など

しかし、一番重視したいのが、その学校の雰囲気です。その生徒を実際に見て、どのような授業が行われているのか、文化祭はどのように行われているかなど、自分の目でみきわめることが大切です。

よく、「こんな評判を聞いたから」といって口コミやネット情報だけで志望校を決めてしまう人がいますが、入学後に「こんなはずではなかった」と後悔することが多いです。ほかの人の見方・感じ方は、自分と同じとは限りません。やはり自分で体験入学や説明会に参加することが一番です。

ここ2年ほどはコロナ対策で人数制限がかかったり、オンラインだったり、体験授業が中止されたりということが多かったのですが、少しずつ、コロナ対策をしながら体験入学も実施されるようになってきました。

教室に掲示される体験入学や高校説明会の案内をチェックしたり、高校のHPを見ておきましょう。昨年度の文化祭や、部活動の様子、進路実績など参考になることがたくさん掲載されています。

忘れてはならないのは、通学経路です。直線距離ではさほど遠く感じられなくても、実際に行くとなると遠くて通えない学校もあります。毎日通うのですから、通学に無理のない範囲で選びましょう。

そして、自分が選んだ高校に合格できる力を身に着けることを忘れないでください。